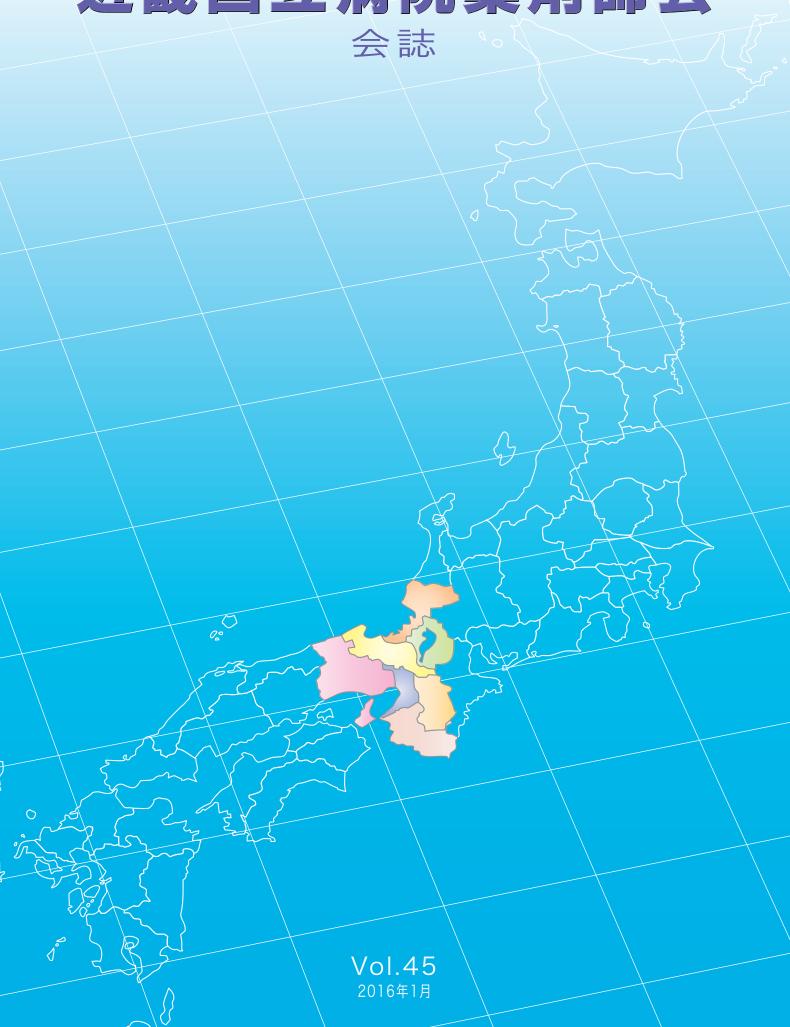
# 近畿国立病院薬剤師会



## 目 次

会長就任のご挨拶		2
大阪南医療センター		
副会長就任のご挨拶~Let's Adapt to Change!~		3
奈良医療センター		
近畿国立病院薬剤師会副会長を拝命して		4
大阪医療センター	上野	裕之
薬剤科紹介		5
あわら病院	高口	仁宏
平成 27 年度近畿国立病院薬剤師会臨時総会報告		7
大阪南医療センター	覚野	野 律
平成 28 年度近畿国立病院薬剤師会総会報告		9
国立循環器病研究センター	中嶋	裕美
平成 28 年度近畿国立病院薬剤師会総会特別講演会報告		12
国立循環器病研究センター	中嶋	裕美
「平成 27 年度 治験・臨床研究研修会」に参加して		. 14
姫路医療センター		
新採用者紹介	• • • • • • •	15
地区会報告		16
福井病院	田村	憲昭
宇多野病院		耕司
姫路医療センター		崇臣
刀根山病院		伸江
やまと精神医療センター		友則
和歌山病院	丸山	直岳
趣味のページ ~音楽を聴くこと~		24
東近江総合医療センター		
編集後記		25

#### 会長就任のご挨拶

近畿国立病院薬剤師会 会長 大阪南医療センター 本田 芳久

昨年の 5 月にも山内薬事専門職から「年度別定年退職予定者数」「男女別薬剤師構成比」 「役職別薬剤師構成比」を薬剤部科長協議会で提示された。

前々任の北村会長が就任された時から「世代交代」という言葉が折に触れ耳にされてきたと思う。2016年1月時点で5年後の2021年3月には21施設の薬剤部科長は全員退職を迎え、男女比は2015年5月時点で153人:167人、但し、45歳以下については99人:149人と実に2:3でありこの傾向は年々、益々広がりを見せるであろう。

さて、このような人的環境の中、近畿国立病院薬剤師会会長を前山崎会長の後任として 就任することになった。「世代交代」としては会長が現薬剤部科長の中では薬剤師歴も含め て最年少であることから始まる。

当薬剤師会の組閣人事も一新することとなった。会長、副会長を除いては初めての役員をお願いすることになった。

また、昨年、現副会長が中心となって「新委員会制度」が取り纏められた。主任が中心の「2委員会制」から全員参加型の「4委員会制」である。さらに事務局もの企画担当を加えた4理事体制とし、各委員会で行っていた事務局業務の集約化を図る。

この取り纏めが、副薬剤部科長を主とした「委員会のあり方会議」で行われたことも「世代交代」の序章であろう。

準備は整った。あとは実行するのみである。

総会で「変わっていこう」という意味で「超変革」とい言葉を使わせて頂いた。

「超変革」の定義は色々あると思うが、超変革とは「理想を描き、新たなしくみを考えるが、今まで培ってきた価値観・強みなど核となってきたものを大切にしながら、理想に近づけていく手段」であると唱えるものがいる。

私は先人が培ってきた価値観・強みを大切にし、我々の組織の強みは何なのか、国立病院機構に所属している近畿グループの強みは何なのかを考えイノベーションをおこす、すなわち新しい満足生み出していくべきだと思っている。

また、会員全てが近畿国立病院薬剤師会の一員であることを誇れるような組織を一緒に 作っていきたいと思っている。

最後になりましたが、会員の皆様方のご支援をいただいて責務を全うしたいと存じます ので、何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

#### 副会長就任のご挨拶~Let's Adapt to Change!~

近畿国立病院薬剤師会 副会長 奈良医療センター 関本 裕美

2016年1月からマイナンバー制度が開始され、私たちひとりひとりに一生涯12桁の背番号が付きます。ひとりひとりに背番号なんて・・・幼い頃に読んだ小説の中の未来都市のようですが・・・

しかし、実際に未来都市はもうやって来ているのです。マイナンバーを誰がどのような 場面で使っていいかは法律や条例で決められており、具体的には国の行政機関や地方公共 団体などが社会保障、税、災害対策の分野で利用することになるそうです。近い将来、私 たちも背番号でよばれる日が来るのでしょうか?未来への変化を感じて、何だかワクワク しませんか?

さて、私たちの近畿国立病院薬剤師会も本田芳久新会長となり、『超変革』のスローガンのもと未来薬剤師会へと変化しようとしています。会員の先生方の希望される企画を少しずつでも叶えられるよう、事務局に新たに企画担当理事が設置され、委員会は 4 委員会となり、全会員一丸となって薬剤師会で活躍頂ける母体ができました。新薬剤師会を運営するのは、企画力に優れ強いリーダーシップを持った会長、突然何の前触れもなくはるか未来へ走り出す陽気な副会長 2 名、ワクワクが大好きな監査役 2 名と、残りの常任理事は今回初めて薬剤師会運営の難しさ、大変さに触れ、『超変革』のワクワクを求めて奮闘される若い先生方です。外から見ているだけではわからないことも多いものです。私たちが目標とする未来薬剤師会は、一人残らず全会員が目に触れて、実行し、そして楽しむ、ワクワク会でありたいと思っております。

チャールズ・ロバート・ダーウィン(生物学者・種の起源著者)の名言に『It is not the strongest of the species that survives, nor the most intelligent that survives. It is the one that is most adaptable to change.』 があります。これは『最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き残るのではない。唯一生き残ることが出来るのは変化に最も適応した者である。』とういう意味です。ひとりひとりが強くあること、賢くあることより、変わる勇気を持ち変わっていくことの充実感と楽しさを一緒に感じませんか?皆様のお力添えを頂いて、副会長として会長を支え、未来薬剤師会への『超変革』に対して、微力ではございますが努力精進する所存です。また、活気のある未来薬剤師会にし

Let's adapt to change!是非『超変革』を楽しんでください。

ていきたいと心から願っています。



#### 近畿国立病院薬剤師会副会長を拝命して

近畿国立病院薬剤師会 副会長 大阪医療センター 上野 裕之

副会長にご指名頂きました大阪医療センター上野裕之です。我々薬剤師会の前身近畿国 立病院・療養所 循環器病センター薬学集談会は、昭和36年発足の伝統ある会であります。 私が入局した30年ほど前は、会員数は110名ほどで年1回の総会、5月、9月例会、そ して7月に開催される青年薬剤師の集いが主な行事でした。医学、薬学的な知識や薬剤業 務の向上を目的とした講演会やグループ討論を行う例会と若手薬剤師が企画する親睦を目 的とした集いを行っていました。私も、委員会や事業のおかげで多くの先生方と知り合い になれたと思っております。平成16年に薬剤科長会と合併し、近畿国立病院薬剤師会とし て、教育、業務、臨床の3委員会となりました。平成22年には臨床委員会が発展的に解消 され、昨年まで2委員会での活動となりました。今年より、本田芳久会長のもと、「超変 革」を旗印に新しい薬剤師会の活動が開始されます。3 年前から一昨年まで行われた「近畿 国立病院薬剤師会の今後を考える WG | や昨年の「委員会のあり方を考える会議 | において、 薬剤師会の活性化や若手薬剤師主導の会運営について議論が重ねられて来ました。これら の議論に加え、病院薬剤師が担う業務の多様化や薬剤師会へのニーズが考慮され、教育研 修委員会、臨床研究推進委員会、医薬品安全管理委員会、チーム医療委員会の4委員会と することとなりました。委員会の所属や活動は全員参加型となり、更なる委員会の活性化 が望まれるところであります。薬剤師会の活動を通して、自分たちの薬剤師会に対する会 員各自の"関心"、"思い"や"思い入れ"を高めて頂き、活性化に繋げていきたく思っ ております。また、今年の改革では、薬剤師認定制度認証機構でのプロバイダー事業の展 開やオープン型の講演会の実施等で、薬剤師研修制度・認定制度改革へのチャレンジや薬 剤師会の将来的な方向性を示す重要な事業を多く含みます。これら事業の成功には会員各 自の薬剤師会への意識の改革が不可欠であります。是非とも積極的に参加することで、我々 と一緒に変革の「時間」を共有して頂きたく思います。将来の薬剤師会への新たな歴史の1 ページとなり、更には薬剤師会の発展へ力を生み出すために「変わろう・変えよう 超変 革」をキーワードに一致団結したお力添えを賜りたくお願い申し上げます。



## 薬剤科紹介



## 独立行政法人国立病院機構あわら病院

#### 病院概要

あわら病院は、福井県の最 北端、あわら市に位置し、目 の前には風光明媚な北潟湖、 東部には雄大な白山連峰が望 めます。また、車で10分くら いの場所に温泉街があり、手 軽に温泉につかることもでき ます。当院では、平成21年か



ら訪問診療・訪問看護を行っており、平成27年7月1日に訪問看護ステーション「アイリス」を開設し、他の医療施設と連携して、地域に密着した医療を提供しています。標榜診療科は13科、172床(一般病棟52床、障がい児(者)病棟120床)の病床数を持ち、障がい児(者)、血液・免疫疾患、神経難病、そして長寿分野を専門とする病院として、特徴のある医療を提供しています。当院の基本理念である「多くの人の笑顔のために」をモットーに、職員全員が日々の業務活動に励んでいます。

### 薬剤科紹介



スタッフは薬剤科長、調剤主任、薬務主任、助手の計 4名です。

#### 調剤業務・無菌調製業務

平成 28 年 12 月にオーダリングシステムを導入する予定です。現在、注射処方箋に書かれた日数分の注射薬を払い出していますが、オーダリングシステムの導入に伴い、1日分個人毎への払い出しに変更する予定です。内服薬では、錠剤の粉砕依頼が多いため、口腔内崩壊錠への採用医薬品の切り替えや、簡易懸濁法を導入することで、調剤業務の効率化を図っています。高カロリー輸液、抗がん剤(主に血液内科)、抗リウマチ作用を持つ生物学的製剤の無菌調製も行っています。

#### 薬剤管理指導業務

一般病棟の患者および神経難病の患者に対して、薬剤管理指導業務を行っています。

#### チーム医療への参加

感染対策チームでは、抗菌薬のサーベイランス・コンサルテーション・感染対策指導・教育など感染対策が効果的に行われるように定期的にラウンドとカンファレンスを行っています。教賀医療センターと連携して、感染防止対策加算 2 を取得しています。栄養サポートチームでは、患者の状態に応じた経腸栄養・静脈栄養療法を提案しています。その他、褥瘡、TPC、リウマチ、クリニカルパスカンファレンスに参加することでチーム医療の質の向上に貢献しています。

#### 医薬品情報管理業務

医薬品の適正使用のために、医薬品情報の収集・評価・加工・伝達を行っています。また、期限切れ間近の医薬品の情報等を発信することで破棄薬剤の減少に努めています。新たに医薬品を採用する際は、電子会議室で薬事委員会を開催し、1週間の協議の後に医薬品採用の可否を決定しています。

#### 後発医薬品の使用促進

当院では、院長をはじめ、後発医薬品への切り替えに非常に協力的です。平成 27 年度も 積極的に後発医薬品への切り替えを行っています。

#### 臨床研究・治験業務

「臨床研究に関する倫理指針」と「疫学研究に関する倫理指針」を統合し、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に改定されました。これに伴い、当院における倫理指針の規程の改定と、治験関連の規程を見直し、ホームページに掲載しています。

(文責 高口 仁宏)

#### 平成27年度近畿国立病院薬剤師会臨時総会報告

#### 大阪南医療センター 覚野 律

平成 27 年度近畿国立病院薬剤師会臨時総会が平成 27 年 12 月 12 日 (土) 薬業年金会館にて開催された。

13 時、本田副会長の開会の辞により臨時総会が開始となり、山崎会長から臨時総会開催に至る過程について説明を頂いた。

議長には、京都医療センター河合副薬剤部長が選出され、関本教育研修委員会委員長より委員会のあり方を考える会議プロジェクト報告について、政道経理担当理事より平成 27 年度決算状況および本年度収支見込についてそれぞれ説明された。

続いて前述の報告を受け、本田副会長より薬剤師会の組織改廃およびこれに伴う会則・ 細則の変更について、さらに共催について説明があり、審議され全ての事項について承認 された。最後に石塚副会長の閉会の辞により無事、臨時総会が終了した。

日時: 平成27年12月12日(土)

場所:薬業年金会館 601 号室

担当施設:理事会

出席者数:出席者154名、委任者159名

会則第12条に従い、会員過半数出席により総会が成立





司会:本田副会長(大阪南医療センター 薬剤部長)

開会の辞:本田副会長(大阪南医療センター 薬剤部長)

議長:河合副薬剤部長(京都医療センター)

閉会の辞: 石塚副会長(南和歌山医療センター 薬剤部長)

#### 報告および審議事項

#### I. 報告事項

(1) 委員会のあり方を考える会議プロジェクト報告について

関本教育研修委員会委員長(奈良医療センター 薬剤部長)よりプロジェクト会議の 結果報告および資料に基づく委員会の組織改廃の必要性について報告があった。

(2) 平成27年度決算状況および本年度収支見込について

政道経理担当理事(和歌山病院 薬剤部長)より資料に基づき、会員増に伴い会場費の支出が大幅に増額されており、現行のままでは数年で予備費が枯渇するので、収入増加もしくは支出減少対策が必要であるとの報告があった。

#### Ⅱ.審議事項

上記報告を受け、本田副会長より、次年度の組織につい て、管理運営のため会務として新たに企画担当を設けるこ と、委員会については、現在の2委員会から、教育研修委 員会・臨床研究推進委員会・医薬品安全管理委員会・チー ム医療委員会の4委員会とし、原則として全会員がいずれ かの委員会に所属すること、また、これらの組織改廃に伴 う会則・細則の変更について、資料に基づき説明があった。さらに、1回毎の会の内容を 充実させること、メーカー共催で行うことの説明があった。



以上について審議の結果、賛成多数で承認された。

#### 平成28年度近畿国立病院薬剤師会総会報告

#### 国立循環器病研究センター 中嶋 裕美

平成28年度近畿国立病院薬剤師会総会が平成28年1月9日(土) ハイアットリージェンシー大阪にて開催された。13時00分、石塚副会長の開会の辞により総会が開始となり、山崎会長から挨拶、引き続いて山内薬事専門職より挨拶を頂いた。

議長には敦賀医療センター杉山副薬剤部長が選出され、平成27年度事業報告、会計報告、 会計監査報告があり、全て承認された。

今年度は山﨑会長の任期満了に伴う改選となったため、本田新会長の挨拶を頂き、新役員が紹介された。続いて平成28年度事業計画案、予算案について審議され全て承認された。 その後、部会紹介が行われ、最後に関本新副会長の閉会の辞により無事、総会が終了した。



日時:平成28年1月9日(土)

場所:ハイアットリージェンシー大阪

出席者数:出席者197名、委任者110名(会員数326名)

会則第12条に従い、会員過半数出席により

総会が成立

司会: 石塚副会長(南和歌山医療センター 薬剤部長)

開会の辞:石塚副会長(南和歌山医療センター 薬剤部長)

議長:杉山副薬剤部長(敦賀医療センター)

閉会の辞:関本新副会長(奈良医療センター 薬剤部長)

#### 報告および審議事項

#### I. 報告事項

#### (1) 平成27年度事業報告

#### ①総務

平成27年度年間活動報告について覚野総務担当理事(大阪南医療センター)より報告があった。

#### ②広報

広報担当会議、会誌の発行、ホームページの運用とリニューアルおよびメンテナンス、会員名簿と委員会メーリングリストのメンテナンスについて宮部広報担当理事 (大阪医療センター)より報告があった。

#### ③委員会報告

総会に先立ち開催された合同会議にて報告されたため省略された。

#### ④地区会報告

各地区理事より活動報告があった。

・京都北部・福井地区 田村地区理事(敦賀医療センター)

・京都南部・滋賀地区 繁野地区理事(宇多野病院)

・兵庫南部地区 山口地区理事 (姫路医療センター)

・大阪北部・兵庫東部地区 寺川地区理事(刀根山病院)

・大阪南部地区 古川地区理事(近畿中央胸部疾患センター)

・ 奈良地区 黒田地区理事 (やまと精神医療センター)

• 和歌山地区 丸山地区理事(和歌山病院)

#### ⑤薬剤部科長協議会

平成27年度事業について山﨑会長(大阪医療センター)より 中間報告があった。



#### (2) 平成27年度会計報告

政道経理担当理事(和歌山病院)より平成27年度会計報告があった。

(3) 平成27年度会計監査

砂金監査役(宇多野病院)より平成27年12月18日に平成27年度会計監査が実施され、 適正かつ正確であるとの報告があった。

以上について審議の結果、賛成多数で承認された。

#### II. 新会長挨拶



新会長に選出された本田薬剤部長(大阪南医療センター)より就 任の挨拶があった。

#### (1) 役員紹介

任期満了に伴う役員改選があったため、本田会長より新役員 が紹介された。

#### III. 審議事項

#### (1) 監査役選出

監査役の任期満了に伴い、老田薬剤部長(敦賀医療センター)、石塚薬剤部長(南和歌山医療センター)が推薦され、賛成多数で信任された。

#### (2) 平成28年度事業計画

#### ①総務

平成28年度事業年間計画について河合総務担当理事(京都医療センター)より説明

があった。

#### ②企画

平成28年度事業年間計画について中蔵企画担当理事(大阪医療センター)より説明があった。

#### ③広報

会誌、ホームページ、名簿・メーリングリスト、情報配信、広報委員会会議について本田広報担当理事(大阪南医療センター)より説明があった。

#### ④各委員会

本年度より4委員会へ再編された。平成28年度の事業年間計画について、教育研修委員会は坂本委員長(あわら病院)より、臨床研究推進委員会は土井委員長(大阪医療センター)、医薬品安全管理委員会は吉野委員長(姫路医療センター)、チーム医療委員会は宮部委員長(大阪医療センター)よりそれぞれ説明があった。

#### (3) 平成28年度予算案

大津経理担当理事(大阪南医療センター)より平成28年度予算案について説明があった。

以上について審議の結果、賛成多数で承認された。

#### IV. その他

部会の各代表者より活動目的、運営方針の紹介があった。

以上

#### 平成28年度近畿国立病院薬剤師会総会特別講演会報告

#### 国立循環器病研究センター 中嶋 裕美

日時:平成28年1月9日

場所:ハイアットリージェンシー大阪

参加人数:175名

#### 第一部



演題:酸分泌抑制と胃がん検診について

講師:大阪南医療センター消化器科医長 増田 栄治先生 胃酸分泌の機序や、消化性潰瘍治療剤の開発の歴史、 H. pylori 除菌療法による胃がん発症率軽減効果等についてご講演いただいた。

胃がんリスク検診(ABC検診)が普及しつつあるが、

H. pyroli 除菌によるABC分類の誤判定等の問題があり、厚生労働省の検討会では、エビデンスが十分ではないとされている。薬剤師としては日常的に目にするH. pylori 除菌療法が検診結果に影響すること等、興味深く聴講させていただいた。

#### 第二部

演題:「医療制度の変化と薬剤師の役割:チーム医療を担うプロフェッショナルスキル」

講師:長崎大学病院薬剤部長 佐々木 均先生

医薬品・医療機器産業の成長のため、規制緩和が進められ、市販後調査による副作用情報の収集、それをフィードバックすることによる安全管理・品質管理が、より重要性を増している。ICH-E2E が合意に至り、医薬品安全性監視計画が実施され、さらに、これにリスク最小化計画を加えた医薬品リスク管理計画(RMP)が、GVP省令中に位置づけられた。つま



り、適正使用、副作用の早期発見のための体制が法律で規定され、安全対策の充実化が図 られている。

病棟薬剤業務においても、副作用の発見・報告・防止等のリスク最小化活動への参加が、薬剤師の重要な役割となっている。副作用の発見にはフィジカルアセスメントの能力が重要である。そのため、長崎大学病院では、副作用の防止・早期発見のための「薬剤師のためのフィジカルアセスメント習得コース」が開設された。他院の薬剤師、薬局薬剤師等も含め、100名以上がこのコースを修了されており、病棟業務でのフィジカルアセスメントの実践が、すでに副作用の発見、重篤化回避につながっている。また、このスキルは、在宅医療においても有用である。

チーム医療において、薬剤師として重要なのは、薬物動態等の薬学知識と臨床経験を重ね合わせることであり、薬学的能力を向上させ、知識・経験を適用し、推理力を発揮することで、薬剤師としての臨床判断が形成される。

副作用報告件数や、フィジカルアセスメントをきっかけとしたプレアボイド、医療チームで、薬学的判断に基づき薬物療法へ関与した症例等を提示していただき、薬剤師がリーダーシップをとり医薬品の適正使用を推進する必要性を再認識した。



#### 「平成27年度 治験・臨床研究研修会」に参加して

姫路医療センター 上野 智子

平成28年1月8日(金)にメルパルク京都で行われた「平成27年度 治験・臨床研究研修会」に参加しましたので報告させていただきます。

本研修会の目的として治験・臨床研究を推進する上で必要な最新情報を近畿グループ内で共有すること、昨年改訂された倫理指針のエッセンスを学び、質の高い臨床研究を実施していく必要性を認識すること、臨床研究支援のためどのような体制と準備が必要であるか、先行施設の準備状況や実施状況を報告していただき、具体的に学ぶこと、そして研修を通じて近畿グループの病院間の連携をはかることがあげられていました。

まず午前中の参加人数は 37 名で、医師、薬剤部長、CRC、事務職員と様々な職種にわたっていました。

講演内容の「チーム医療としての医師主導治験」「治験契約書の法的なチェックポイント」「国立病院機構の臨床研究・治験の状況について」のうち、私は特に契約書の講演の聴講が今回の研修の参加目的のひとつでした。契約締結に向けての作業の中で、元々の契約書雛形から企業側から示された修正案のどこに注意したらよいのか、担当者とも協議してすすめていますが、かなり迷っていたところでしたので今回の内容は非常に勉強になりました。そして近年グローバル治験が増えているため、今後は病院側が不利にならないために、課題によっては専門家である弁護士に契約審査や交渉を依頼する方がいい場合も多くなるのではないかと感じました。

午後は「みんなで取り組もう!改訂倫理指針!!」と銘打ったパネルディスカッション 形式で外部聴講も可能だったため参加者は合計 101 名で、改訂倫理指針の対応への注目の 高さがうかがえました。

内容は「改訂倫理指針の内容と対応について」「倫理委員会事務局の実際、倫理審査委員会の認定制度について」「教育・研修の事例について」「CRC が行うモニタリングの実際について」と各テーマでの先行 4 施設での実施状況、取り組みの報告でした。全てが充実した内容で正直時間が足りないと感じるほどで、当院の改訂倫理指針への対応で不足している箇所を確認できました。

特に教育・研修は研究責任者だけでなく研究者等、また倫理審査委員会の委員及びその 事務に従事する者も受ける必要があります。関係者の E-learning の実施は確認していましたが、当院は臨床研究セミナーを継続開催しておらず十分でないと考えられ、今後何らかの対応を検討する必要があるのではと感じました。

臨床研究については様々な取り組むべき事象がありますがマンパワーには限りがあります。今回の研修であらためて臨床研究支援はただ目の前の事を処理していくのではなく、施設としての方針を固めてから体制を整備するのが重要だと感じました。今回の研修で気づいた当院の課題に取り組み、より質の高い臨床研究の実施に貢献していきたいと考えております。

## 新採用者紹介

~①氏名 ②施設 ③座右の銘、好きな言葉 ④抱負~

- ① 溝内亜希子 (ミゾウチ アキコ)
- ② 大阪医療センター
- ③ 『相手の気持ちになって考えてみる』
- ④某製薬会社のMRとして、仙台の開業医・山形の大学病院を担当しておりましたが、ご 縁あって11月より大阪医療センターに勤務することになりました。

本当に何もかもが新鮮で、日々学ぶことが多く、少しずつではありますが、出来る事やわ かる事が増えていくことに大きな喜びを感じております。

諸先輩方のように、患者さまに信頼され、スタッフの皆様と力を合わせて医療貢献できるような人材になることが目標です。

1日でも早く戦力になれるよう尽力致しますので、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。



#### ~地区会報告~

<京都北部・福井地区>

地区理事

敦賀医療センター 田村 憲昭

1) 第1回地区会

日時:平成27年7月10日(金)19:30~21:00

場所:国立病院機構敦賀医療センター大会議室

参加人数:舞鶴(9名)福井(9名)あわら(3名) 計21名(会員25名 出席率:84%)

1. 副理事変更について

平成27年4月に長谷川副理事(舞鶴)が異動となったため、地区副理事の改選につい議論を行った

副理事に舞鶴の宮部先生が選出され地区会で承認を得た。

2. 地区理事・副理事選出方法について

地区理事・副理事の選出方法の規定を作成し、承認を得た。

地区理事・副理事は3施設で持ち回り。

決定方法は信任投票でメールにて結果を伝える。

- 3. 各施設の取り組みについて
  - 3施設の取り組み状況について確認した。
- 4. 地区会の運営費について
- 5. 症例検討:敦賀病院 塚本先生担当 バクタによる K 値上昇の症例
- 6. その他

次回地区会は平成27年10月か11月に敦賀医療で開催予定。

舞鶴病院担当で症例検討。

2) 第2回地区会

日時:平成27年11月13日(金)19:00~20:45

場所:国立病院機構敦賀医療センター大会議室

参加人数:舞鶴(8名)福井(9名)あわら(3名) 計20名(会員25名 出席率:80%)

1. 理事会報告について

臨時総会で審議予定の内容について説明。

- ・委員会組織改編について
- ・近畿国立病院主催講演会に共催スポンサーをつける。
- 2. 地区会開催回数について…最低年1回開催する。→理事会提案 (地区会補助費減算に伴い一人補助1000円にする。)

意見:地方の意見を集約するための会で年2回くらい開催するのは妥当で意見交換会を するのは意義があることであり、現状の補助費は維持してほしい。

3. 薬剤師の集いについて

理事会から当地区で担当してもらえないかと要望あり。

企画案があり。別紙参照。

- 4. 地区会の運営費について
- 5. 症例検討:舞鶴病院 東先生担当 せん妄を引き起こしやすい薬剤について
- 6. 次期理事・副理事について

信任投票の結果、

新理事に舞鶴の宮部先生、新副理事にあわらの高口先生となった。

<京都南部・滋賀地区>

地区理事

宇多野病院 繁野 耕司

1) 第1回地区会

日時:平成27年6月26日(金)19:30~22:00

場所:京都市

参加人数:京都医療(25名)南京都(1名)東近江(8名)紫香楽(3名)宇多野(7名) 計44名(会員74名 出席率:60%)

1. 理事会報告について

今後の近畿国立病院薬剤師会の行事内容について説明した。既に日程は決まっているので積極的な参加をお願いし、また、ホームページでも行事日程を確認できることを伝えた。

2. 人事異動について

新会員の紹介等 9名

3. 各施設の現状報告について

病棟薬剤業務の状況、薬学生長期実務実習の状況、電子カルテなどのシステムの導入、 改正薬剤師法の対応、治験実施状況などといった報告内容であった。

4. 懇親会

参加者は昨年度より減少したが、活発な意見交換ができた。

2) 第2回地区会

日時:平成27年11月6日(金)19:00~20:30

場所:京都医療センター

参加人数:京都医療(21名)南京都(4名)東近江(8名)紫香楽(3名)宇多野(7名) 計43名(会員74名 出席率:58%)

1. 人事異動について

新会員の紹介等 1名

- 2. 次期地区理事の紹介
- 3. 理事会報告
  - ①次年度の組織改廃について
  - ②会則・規約の見直しについて
  - ③メーカー共催について
  - ④臨時総会について
- 4. 発表

① 「持参薬処方代行入力について」

東近江総合医療センター 横山 晋一郎

② 「併用薬がワルファリンの効果に影響を及ぼした一症例」

南京都病院 脇 啓子

③ 「アルブミン値とCONUT法を用いた栄養評価の比較検討」

紫香楽病院 原 伸好

④ 「薬剤管理指導業務の記録内容標準化へ向けた取り組み」

京都医療センター 水津 智樹

⑤ 「退院時への薬剤師介入に関する取組みとその後」

宇多野病院 吉川 実希

<兵庫県南部地区>

地区理事

姫路医療センター 山口 崇臣

1) 第1回地区会

日時:平成27年6月5日(金)19:30~21:30

場所:神戸市三宮

参加人数: 姫路医療(16名)神戸医療(12名)青野原(2名)

計 30 名 (会員 38 名 出席率: 79%)

- 1. 新規採用、人事異動に伴う新会員紹介 6名
- 2. 各施設の近況報告等

各施設の近況について報告があった。

また、次回は研究発表会を行うこととなった。

3. 懇親会

2) 第2回地区会

日時:平成27年11月12日(木) 19:30~21:30

場所:グリーンヒルホテル明石

参加人数: 姫路医療(17名)、神戸医療(10名) 兵庫あおの(4名)

計 31 人出席(会員 38 名出席率 77.5%)

1. 新規採用、人事異動に伴う新会員紹介 3名

#### 2. 会員報告

#### 研究発表会

神戸医療:改正薬剤師法におけるシステム導入による外来指導の実際

姫路医療: 姫路医療センター呼吸器内科における免疫抑制患者へのPCP予防投与を目的

としたST合剤の使用調査

兵庫あおの:病院移転と新病院紹介

3. 近畿国立病院薬剤師会再編成について

4. 次期地区理事、副理事、施設代表について

#### <大阪北部兵庫東部地区>

地区理事

刀根山病院 寺川 伸江

1) 第1回地区会

日時:平成27年6月25日(木)19時半より

場所:ベルクラシック空港(大阪府池田市空港1-12-8)

参加人数:循環器研究センター(23名)兵庫中央(7名)刀根山(8名)

計 38 名 (出席率: 59.3%)

1. 理事会報告

2. 新会員紹介

3. 親睦会

#### 2) 第2回地区会

日時:平成27年11月26日(木)19時半より

場所:ベルクラシック空港(大阪府池田市空港1-12-8)

参加人数:循環器研究センター(21名)兵庫中央(8名)刀根山(9名)

計 38 名 (出席率:61%)

#### 内容

- 1. 新会員紹介
- 2. 理事会での決定事項について伝達
- 3. 親睦会



#### <大阪南部地区>

地区理事

近畿中央胸部疾患センター 古川順昭

1) 第1回地区会

日時:平成27年6月25日(木)19:00~22:00

場所:天王寺

参加人数:大阪医療(28名)大阪南(20名)近畿中央(11名)

計 59 名 (会員 83 名 出席率: 71.1%)

1. 新会員紹介

大阪医療センター 6名

大阪南医療センター 5名

近畿中央胸部疾患センター 5名

2. 各施設の現状報告について

大阪医療:新病院の建て替えが現在進行中。新病院では地下は作らず薬剤部は4階に移動する予定。本年度もアドベンチャーホスピタルを開催し反響もよかった。現在も常勤人数は不足しているが、7月より異動で1名、新規採用で1名の計2名が補充されることとなっている。

大阪南医療: ICU 及び手術室での薬剤管理を導入。がん患者指導管理料3の算定開始。薬剤指導件数が現在900件であるが1100件に目標設定を行っている。現在の治験数は30件であり内8件が新規である。

近畿中央:薬剤師外来を立ち上げてから1年が経過した。外来での吸入薬導入時の吸入指導外来にも現在力を入れている。また、6/10より化学療法のオーダリングを開始。平成29年度の電子カルテ導入や病院の建て替え案が進行中である。

- 3. 意見交換会
- 4. その他

認定制度に関するアンケート調査実施(20歳代~50歳代まで世代別に実施)

· 日本病院薬剤師会 生涯研修認定制度

· 日病薬病院薬学 認定薬剤師制度(病薬新制度)

・日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師制度

<各認定制度の認知度>

全ての世代において、ほぼ 100%

<各認定制度の点数の収集割合>

・日本病院薬剤師会 生涯研修認定制度 : 全ての世代で60%・日病薬病院薬学 認定薬剤師制度(病薬新制度) : 全ての世代で35%

・日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師制度 : 全ての世代で70%

以上

#### <奈良地区>

#### 地区理事

やまと精神医療センター 黒田 友則

1) 第1回地区会

日時:平成27年1月20日(火)19:00~21:00

場所:奈良市

参加人数:奈良医療(7名)やまと精神(3名)実務実習生(奈良医療:2名)

計 12 名 (会員 10 名 出席率: 100%)

1. 人事異動について

2. 副地区理事の交代について

3. 懇親会

2) 第2回地区会

日時:平成27年3月24日(火)19:00~21:30

場所: 奈良市

参加人数:奈良医療(7名)やまと精神(3名)

計 10 名 (会員 10 名 出席率: 100%)

1. 人事異動について

2. 近況報告

3. 送別会

3) 第3回地区会

日時:平成27年4月10日(金)19:00~21:00

場所:大阪市

参加人数:奈良医療(6名)やまと精神(3名)計9名(会員10名 出席率:90%)

1. 人事異動について

2. 近況報告

3. 歓迎会

4) 第4回地区会

日時:平成27年11月6日(金)19:00~21:00

場所:大阪市

参加人数:奈良医療(7名)やまと精神(3名)

実務実習生(奈良医療:2名、やまと精神:1名)

計 13 名 (会員 10 名 出席率: 100%)

- 1. 次期地区理事、副地区理事の選出について
- 2. 近況報告
- 3. 懇親会

#### <和歌山地区>

#### 地区理事

和歌山病院 丸山 直岳

1) 第1回地区会

日時:平成27年5月20日(水)19:30~22:00

場所:和歌山県田辺市

参加人数:南和歌山医療センター(16名)和歌山病院(7名)

計 23 名 (会員 24 名 出席率 96%)

- 1. 出席者自己紹介
- 2. 各施設の現状報告について

(南和歌山医療センター)

- ・平成27年度中に10時以降、1病棟1薬剤師以上の常駐開始
- ・平成27年6月1日から電子カルテ、アンプルピッカー導入
- ・平成27年6月1日から院外処方箋に以下13項目の検査値記載開始 (WBC, Hgb, PLT, PT-INR, AST, ALT, T-Bil, Cre, eGFR, CRP, CK, HbA1c, K)
- ・治験実施状況;平成26年度治験契約件数20件(うち新規8件)
- ・平成27年中に在宅医療支援センターの設置

(和歌山病院)

- ・平成27年度中に「後発医薬品使用体制加算1」へ切替予定
- ・平成27年6月より治験業務開始
- 3. 意見交換会
- 2) 第2回地区会

日時:平成27年11月17日(火)19:30~22:00

場所:和歌山県田辺市

参加人数:南和歌山医療センター(16名)和歌山病院(7名)

計23名(会員24名 出席率96%)

1. 臨時総会開催について

組織改廃および事業展開(総会、講演会など)におけるメーカーとの共催について地区理事より報告

2. 各施設の現状報告について

(南和歌山医療センター)

- ・平成27年10月5日より10時以降、薬剤師の1病棟1薬剤師以上の常駐開始
- ・平成27年6月1日より開始している院外処方箋への検査値の追加項目に関して田辺薬 剤師会と調整中
- ・地域医療ネットワーク (Human Bridge; 複数の医療機関の患者診療情報を安全 に連携させ、地域医療のサービス拡充に貢献)構築中
  - ・治験実施状況;平成27年11月現在治験契約件数14件(うち新規1件)

#### (和歌山病院)

- ・平成28年3月 建て替えに伴い病棟移転
- ・病棟移転後の「病棟薬剤業務」に向けて対象病棟で試行中
- ・平成27年度中に「後発医薬品使用体制加算1」へ切り替え予定
- 平成 27 年 6 月 治験業務開始
- 3. 学会関連

(南和歌山医療センター)

- ・日本医療マネジメント学会(2015年6月12~13日) 「退院時指導と薬薬連携強化への取り組みについて」(辰己)
- ・日本在宅薬学会(2015年7月19~20日) 「緩和ケアチームによる在宅医療支援と今後の課題について」(辰己)
- ・国立病院総合医学会(2015年10月2~3日) 「院外処方せんの検査データ記載について」(別府) 「病院薬剤師におけるスポーツファーマシスト活動」(辰己) 「当院のプレアボイド報告の現状について」(米原)

#### (和歌山病院)

- ・国立病院総合医学会(2015年10月2~3日) 「アファチニブにおける副作用発現調査」(堅田)
- 4. 地区理事、副地区理事の選出について
- 1) 薬剤師定員数を考慮し、地区理事は和歌山病院が1期、南和歌山医療センターが2期の割合で交代する。(2015/10/1 現在 和歌山7名、南和歌山17名)
- 2) 地区理事、副地区理事の選出は各病院の合意で決定する。次期地区理事 南和歌山医療センター 小林 正志 副地区理事 和歌山病院 丸山 直岳
- 5. 意見交換会



#### 趣味のページ~音楽を聴くこと~

#### 東近江総合医療センター 朝日 信一

趣味のページを担当させて頂くことになりました東近江総合医療センターの朝日信一で す。今回は私の趣味である音楽鑑賞について書かせて頂きたいと思います。

私は毎日、車で30分ほどかけて通勤しているのですが、その際に車内で好きな音楽を聴くのが日々の楽しみとなっています。よく聴くのは J-POP で、好きなアーティストはMr. Children、BUMP OF CHICKEN、RADWIMPS、ポルノグラフィティなどです。音楽を聴くことの魅力は、同じ曲でもその時々の自分の状況や感情により、全く異なる感じ方をすることができ、何回も繰り返し聞いた曲でも次聞くとまた新たな発見があることかと思います。実際、自分の中では初めて聞いた時の印象とある程度聞いてからの印象は全く異なることの方が多いです。でもやはり、一番ワクワクするのは好きなアーティストの新しい曲を初めて聞くときです。

音楽は歌詞にメロディーや声、気持ちなどが複雑に組み合わさり 1 つの曲という世界ができると思うのですが、その素晴らしさはなかなか言葉や文字にして伝えることはできませんので、今回は自分のお気に入りの歌詞を1つだけ紹介したいと思います。

~切り札を隠し持っているように思わせてるカードは実際は何の効力もない だけど捨てないで持ってれば何かの意味を持つ可能性はなくない~

これは、2015 年 6 月にリリースされた Mr. Children の「REFLECTION」というアルバムの中の「幻聴」という曲の1部分です。人生の中で自分がしていることの中に、この歌詞にでてくるカードのように、何の効力もなく無駄なことがいっぱいあります。時には、自分は役に立つと思ってやってきたけど、後でそのことがあまり役立たないことに気づくこともあります。そんな時にこの曲を聴くとすごく励まされ、また頑張ろうという前向きな気持ちになることができます。まだ聴かれていない方は、是非一度聴いてみて下さい。以上になりますが、最後まで読んで頂きありがとうございました。次号ですが、宇多野病院の細田敦規先生にお願いしています。私も非常に楽しみにしています。

#### 編集後記

- ♪ 新年あけましておめでとうございます。旧年中は多くの先生方から原稿執筆にご協力 を頂き誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ♪ 今年は60年に1度の丙申(ひのえさる)だそうです。丙には物事の本質が明らかになるという意味があり、申は呻く(うめく)という意味から果実が成熟し固まっていく状態を表すそうです。2016年は頑張ってきた努力が形になっていく素晴らしい年になりますことをお祈り申し上げます。
- ♪ この冬は暖冬のままかと思いきや寒波到来。急な気候の変化で体調は崩されていませんでしょうか。これまでの暖冬の影響でインフルエンザの流行も遅めとなっているようです。体調管理にはくれぐれもご注意ください。
- ♪ 今年最初の会誌です。今月号は新年の挨拶、近畿国立病院薬剤師会総会報告、学会報告、趣味のページなど、読み応えのある内容となっております。今月号も最後までご熟読ください。

(E.T)

近畿国立病院薬剤師会ホームページ http://www.kinki-snhp.jp/

近畿国立病院薬剤師会会誌

第四十五号 平成28年1月発行

発行元 近畿国立病院薬剤師会事務局

大阪市中央区法円坂 2-1-14

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤部内)

発行人 会長 本田 芳久(大阪南医療)

編集 広報担当理事 本田 富得 (大阪南医療)

広報委員 高原 由香 (大阪医療) 竹松 茂樹 (京都医療)

中西 彩子 (奈良医療) 岩槻 瑠美 (南和歌山医療)

竹原 健次 (兵庫中央) 村津 圭治 (大阪南医療)

田中 絵理 (宇多野)